

〈学校教育目標〉 学び合う 支え合う 鍛え合う



雨竜小学校だより

発行 雨竜町立雨竜小学校

校長 三好考央

令和5年10月5日

第10号

〈めざす子どもの姿〉 4つのしっかり「あっ!そうか!!」

前期のご支援ありがとうございました

前期のあゆみについて

本日、10月5日で前期が終了しました。この間、運動会など行事やPTA活動など、保護者・地域の皆様には大変お世話になりました。おかげをもちまして、雨竜小学校の子供たちは毎日元気に過ごし大きく成長することができました。

さて、平成30年に学習指導要領（国で定めている学校で教える内容などが記載されているもの）が改定され、評価項目が一新されました。『知識・技能』『思考・判断・表現』『学びに向かう力』の3つになり、授業も当然、思考力や判断力、表現力を付けるための話し合い活動などに重きを置かれるようになっていきます。また、『学びに向かう力』は学習の進め方（学習計画、学習方法、自己評価等）を自ら調整していくことができるようにすることをねらいとしており、授業の中では振り返りをしっかり行うことにより自己の学習の成果を認識させ、次に学びたいことなどを考えさせています。このように、指導と評価を一体化するという事で、従来のように単元毎の評価では学習指導要領の目的を果たすことが難しくなり、評価も少しでも長いスパンで子供たちを見取ることが必要となりました。このようなことから、1学期、2学期、3学期から前期・後期としてあゆみも2回とし、評価項目も観点別にさせていただいています。

子供たちが持ち帰る『あゆみ』ですが、『よくできる』のところの丸の数だけ数え一喜一憂するのはやめましょう。よくできているところは大いに褒め、次に繋がるよう意欲を十分に喚起してあげてください。そして、『もう少し』についていたら、「できない」という言葉を使わずに、「苦手なところ、惜しかったところ」と言って次の目標にしてあげましょう。怒っても子供たちはできるようにはなりません。励まして、褒めて伸ばしていくことが子供の成長の近道です。

4連休（秋休み）明けから後期が始まります。縦割り活動や委員会活動のメンバーも変わり、きっと新たな出会いもあり楽しいことも待ち受けていることでしょう。

また、学習発表会という大きな行事も控え忙しいことも多くなると思いますが、学校としましては、子供たちの安全・安心を第一に考え、大きく成長できるよう引き続き教育活動を推進してまいりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

前期の振り返り



入学式（1年生）



遠足（2年生）



桜の種取り（3年生）



落語教室（4，5年生）



宿泊学習（5年生）



修学旅行（6年生）

優しい心で満たされる雨竜小学校『やさしさいっぱい』
みんなが毎日元気に活動できる雨竜小学校『元気いっぱい』
この2つのことを子供たちにいつも伝えてきました。
子供たちは少しでも意識をして生活することができたでしょうか？
残り半年も子供たちの頑張りに期待です！ **パワー**